

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立伝法小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

令和7年度の小学校学力経年調査における『自分にはよいところがあると思いますか』に対して、肯定的に回答した児童の割合は84.3%だった。日頃から、互いの良さや違いを認め合うことを大切にしてきたことが一定の成果として表れているが、児童が自覚していない「自分のよいところ」を認識する機会をより多くもつ必要がある。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和7年度の小学校学力経年調査における『学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか』に対して、肯定的に回答をした児童の割合は75.3%以上であった。今後も校内の研究活動や研修によって授業改善を図り、主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくりを学校全体ですすめていくことが大切である。

【学びを支える教育環境の充実】

令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、令和8年2月の時点で、年間授業日の77.8%であった。「心の天気」や「デジタルドリル」、「コグトレ」、日常の学習での活用等を全ての学年で推進してきた結果であると考え。今後の課題としては、教科指導の中での有効な活用法の共有や教職員の活用スキルの向上を図る必要がある。

中期目標(令和11年度末まで)

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 令和11年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 令和11年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使いましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を100%にする。

2 年度目標（中期目標の達成に向けて）

全市共通目標・学校の年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 令和8年度のいじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員を100%にする。
- ・ 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
- ・ 令和8年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。
- ・ 令和8年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。
- ・ 令和8年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。
- ・ 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 令和8年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立伝法小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度のいじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員を100%にする。 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。 令和8年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号1-1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「いじめについて考える日」の取組や、アンケート等の実態把握、自己有用感や自己肯定感を高め自他の尊厳を認め合う学習活動を通して、いじめを許さない集団づくりに努める。</p> <p>指標 「いじめについて考える日」の取組を年1回、いじめアンケートを年3回、他学年とのメッセージ交換をする「ぼかぼかの木」を各学期1回実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号1-3 安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>「心の天気」、「アセス」、スクリーニング会議、家庭訪問、スクールカウンセラー等を活用し、子どもの困り感に応じた丁寧な対応と、情報共有、不登校の早期対応・解消に努める。</p> <p>指標 不登校の未然防止や早期対応・解消に向けた教員間の情報共有を月1回実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向番号2-9 豊かな心の育成】</p> <p>毎朝、校門前でのあいさつ指導や、児童会の「あいさつ運動」を実施し、気持ちのよいあいさつができるようにするとともに、規範意識や自律の意識を高める。</p> <p>指標 「あいさつ指導強化週間」を年3回実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立伝法小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。 令和8年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。 令和8年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向番号4-22 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につながる授業研究会を全学年で年間1回以上行い、学力向上につながる指導力の向上に取り組む。</p> <hr/> <p>指標 各教員において研究授業を年間1回以上実施する。また、指導力向上に向けた校内研修会を年1回以上実施する。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向番号4-18・4-19 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>始業前や「伝法タイム」を活用して読み・書き・計算などの基礎的・基本的な知識・技能を着実に身に付けさせるとともに、家庭学習も含めた学習習慣の定着を図り、学力向上を目指す。</p> <hr/> <p>指標 音読タイムと読書タイムを週1回、家庭学習力UP週間を学期に1回、でんでん漢字検定を学期1回実施する。</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向番号5-26 健やかな体の育成】</p> <p>子どもの困り感に目を向け、体づくりを軸にした運動を体育科や日々の生活の中に取り入れ、体力・運動能力の向上に努める。</p> <hr/> <p>指標 運動に触れる機会につながるチャレンジタイムと運動のねらいを明確にしたデンリピックを年間1回以上実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立伝法小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上にする。 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向番号6-29 教育DXの推進】 授業において学習者用端末を活用し、個別最適な学びと、協働的な学びの質の向上をめざす。	
指標 学習者用端末を学習時や伝法タイム等において毎日活用する。	
取組内容② 【基本的な方向番号7-1 働き方改革の推進】 長時間勤務の解消を通じ、教職員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができ、子どもたち一人一人に向き合う時間を確保する環境の実現をめざす。	
指標 週に1日、定時退勤日を設ける。また、会議の精選や効率化や業務分担の平準化を図り、時間的なゆとりを捻出する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	